

第5回 化学人材育成プログラム

～化学産業による大学院博士後期課程支援制度～

募 集 要 項

2014年8月

一般社団法人 日本化学工業協会
主 催 : 化学人材育成プログラム協議会

後 援 : 文 部 科 学 省
経 済 産 業 省

公益社団法人 日本化学会

公益社団法人 化学工学会

公益社団法人 高分子学会

1. 背景と目的

「化学人材育成プログラム」は、2010年10月に創設されましたが、その前の段階として、2007年に経済産業省と文部科学省の支援を得て「産学人材育成パートナーシップ」が設置され、人材育成にかかわる産学双方の横断的な課題が議論されました。その後、2009年に設置された「化学ビジョン研究会」に議論が引き継がれ、2010年4月の報告書において、「化学人材育成プログラム」の創設が提言されました。これを受けて、当プログラムが創設されましたが、創設の趣旨は、「優秀な人材が化学分野に進学し、実社会向けの教育を受け、その後化学産業に携わるよう、化学産業が大学に求めるニーズを発信し、これに応える大学を産業界が支援する取り組みを進める」というものです。

グローバル化の進行する中で、企業における高度な能力を持つ人材の必要性、我が国全体としての基礎研究水準の維持・向上、そして博士学位取得の重要性がさらに増えています。このような観点から、大学院の理工系博士後期課程において、高度な研究力と応用力、研究マネジメント力なども視野に入れた教育が行われることが望ましいと考えます。

「化学人材育成プログラム」では、博士後期課程において先進的な教育プログラムを有し、化学産業が求める人材ニーズに応える大学院・専攻を公募・選定し、選定された大学院・専攻(支援対象専攻)については、人材育成や就職等を含めた5年間の支援を行います。(現在の支援対象専攻：14 大学院の 24 専攻)

また、支援対象専攻のうち特に優れた専攻(奨学金給付対象専攻)に対しては、博士後期課程に進学する学生を対象に奨学金を給付します。(現在の奨学金給付対象専攻：10 大学院の 12 専攻)

化学産業が求める人材像

- 1) 特定分野に関する深い専門性に加え、幅広い基礎的な学力を持つ人材
- 2) 課題設定能力に優れ、解決のために仮説を立てて実行できる、マネジメント能力を持った人材
- 3) リーダーシップ、コミュニケーション能力に優れた人材
- 4) グローバルな感覚を持った人材

2. 対 象

大学院化学系専攻・博士後期課程

3. 今回選考する大学院・専攻への支援期間

2016年4月1日から5年間

4. 支援内容

化学産業が望ましいと考える博士後期課程の教育カリキュラムを持つ大学院・専攻を毎年選定し、選定された大学院・専攻(支援対象専攻)に対して就職支援等を含めた以下(1)～(5)の支援を、支援対象専攻のうち特に優れた専攻に対しては、それに加え(6)の支援を行います。

- (1) 日本化学工業協会ホームページ等に、選定された大学院・専攻のカリキュラム等博士学生育成の取組みを発信
- (2) 就職相談窓口の設置、企業の博士採用情報の提供、学生・企業交流会等による学生の就職支援
- (3) 学生と企業関係者の良好な関係構築のための、研究活動報告やポスター発表などを産学交流会などで定期的開催
- (4) 大学におけるカリキュラム改革の支援
- (5) インターンシップの活性化と円滑な実施のための大学と企業間のコーディネート
- (6) 支援対象専攻のうち特に優れた専攻に進学する学生に対する奨学金の給付

5. 応募方法

(1) 応募期間

2014年9月1日から2014年10月10日(必着)まで

(2) 応募書類

化学人材育成プログラム申請書

(3) 応募先・方法

提出はE-Mailでお願いします。件名を「第5回申請書(〇〇大学大学院〇〇専攻)」とし、申請書のファイル名を「〇〇大学大学院〇〇専攻.doc」として大学(院)名と専攻名がわかるようにお願いします。但し、一枚目の『「第5回「化学人材育成プログラム」への応募』については押印後PDFでお送りください。また、参考資料は別資料とし、申請書同様に大学名と専攻名がわかるようにしてお送りください。

宛先: jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp

化学人材育成プログラム協議会 事務局

電話: 03-3297-2563 (事務担当: 日本化学工業協会 労働部)

6. 選考方法

(1) 審査項目

産業界における研究開発等に貢献できる以下のような博士人材を育てる教育カリキュラムの有無・その内容及び研究実績を審査します。

<人材像>

- 1) 特定分野に関する深い専門性に加え、幅広い基礎的な学力を持つ人材
- 2) 課題設定能力に優れ、解決のために仮説を立てて実行できる、マネジメント能力を持った人材
- 3) リーダーシップ、コミュニケーション能力に優れた人材
- 4) グローバルな感覚を持った人材

<研究実績>

- 5) 過去5年間の代表的な博士後期課程学生の研究実績

(2) 参考項目

審査にあたっては、化学系企業への就職実績等も参考にします。

- ・過去5年間の博士後期課程修了者の化学系企業への就職実績
- ・当プログラム奨学金給付対象専攻においては、奨学生の化学人材育成プログラム協議会会員企業への就職実績

(3) 審査の進め方

提出された申請書の内容について、化学人材育成プログラム審査委員会による審査(非公開)を行い、支援対象専攻及び奨学金給付対象専攻を決定します。

1) 一次審査(書類審査)

提出いただいた申請書の内容について、書類審査を実施します。

2) 二次審査(プレゼンテーション審査)

一次審査を通過した専攻について、当該専攻の教員にプレゼンテーションを行っていただき、その内容を審査します。

二次審査を実施する場合には、選考日の詳細等について専攻宛に通知します。なお、二次審査にあたっては追加資料を使用することができます。

3) 審査結果の通知

審査結果は、『支援対象専攻として採択』、『奨学金給付対象専攻として採択』、及び『不採択』のいずれの場合も、専攻長宛に通知します。

7. 奨学金給付について

奨学金給付対象専攻として採択された専攻から推薦された学生に対し、奨学金を給付します。採択された専攻は採択決定通知後、別紙の対象学生の推薦書と履歴書を事務局まで送付することにより、給付対象学生を推薦してください。

(1) 給付

2016年度、2017年度、2018年度、奨学金給付対象専攻の博士後期課程進学者、各年度1名について、月額20万円を修了時まで原則3年間、給付します。

※本奨学金は給付とし、返還は求めません。ただし、以下のいずれかに該当する場合には奨学金の打ち切り及び返還を求めることがあります。

- ・当該専攻の履修を中止した場合
- ・正当な理由がなく、3年間で修了できない場合又は修了できないことが予想される場合
- ・その他奨学金を給付することが不相当と認められる場合

(2) 給付対象学生

①奨学金給付対象専攻の決定後、給付対象学生の推薦については、当該専攻に行ってください。

②奨学金給付対象学生は、以下の全てに該当する者としてします。

- ・化学系企業への就職意思を有する者(申請書の別紙1推薦書により専攻が確認)
- ・博士後期課程に進学意思を有する者

- ・月額8万円以上の他の奨学金や政府からの支援を受けていない者
- ③給付対象学生には、参加企業に対する研究活動報告等を行っていただきます。

(3) 奨学金給付の辞退

奨学金給付学生の推薦提出後、当該学生が何らかの理由（例：他の奨学金の給付を受ける）で奨学金給付を辞退する場合は、奨学金給付開始前に限り、専攻在籍の他の学生を再推薦することができます。

奨学金給付開始後の奨学生の変更は認められません。（奨学金給付開始後、奨学金を辞退する場合は、当該学生の残りの給付期間については専攻への奨学金給付は行いません。）

8. フォローアップについて

支援対象専攻に対して、支援継続の妥当性を確認するため、申請書に記載した博士人材育成の取組み状況について、書面等による報告を求めることがあります。

9. スケジュール（予定）

2014年9月1日	募集開始（申請書受付開始）
10月10日	募集締切（申請書受付締切）
	一次書類審査、一次書類審査結果送付
11月20日	審査委員会（二次プレゼンテーション審査）
11月下旬	支援対象専攻・奨学金給付対象専攻の決定通知
2016年4月	支援開始
2021年3月	支援終了

一般社団法人 日本化学工業協会
化学人材育成プログラム協議会
〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1
住友不動産六甲ビル
E-Mail:jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp